



傾 聴

学年目標 「対話」

芝浦工業大学柏高等学校
40 期学年通信
第 2 号 2020 年 4 月 10 日



新学期が始まります！！

新学期が始まります。でも、登校は出来ません。5 月からの登校が本当に始まるかどうか、誰もわかりません。それも踏まえて 4 月 13 日(月)からの学習は 3 月の休校中・春休みの学習とは異なり、新しく 2 年生になって授業が始まる、という意識で行わなければなりません。今までだらだらと過ごしていた人もきちんと時間を区切って学習に向けてください。自分の時間割をつくっていきましょう。

そして、今一度……。GW までの休校措置にともない、年度日程については、大幅な変更が生じます。今後も変更が生じる可能性がありますので、ラインネット、Google Classroom、ホームページ等で最新の情報に注意してください。学年通信は学校の HP の中の、学年の「連絡事項」にも入れておきます。

各教科から、新学期に向けて

数学

新学期が始まります。学校がないからといって、復習だけで終わると思ったら大間違いです。スタディサポートと、教科書を中心に勉強をすすめます。小テストも行い、理解度を確認します。

ただ、ごまかそうと思えばいくらでもごまかせます。自主性を持ってやっていきましょう。登校が始まったときは、その日まで進んだところの復習は行いません。必ずその時に一つ一つ確認し理解し自分のものとしてください。「わかる」と「できる」は違います。まず、映像と教科書でわかり、演習をしていきましょう。5 月？に登校したとき、自分だけ取り残されているとか無いようにしてください！わからない人用に、自習タイム＝質問タイムを設けます。すべて、数学のクラスルームでお知らせいたしますので、必ず入室してくださいね。

国語

このような社会情勢になりましたが、いよいよ高校 2 年生が始まりますね。

高校 2 年生では、今までより扱う文章のレベルが少し上がります。ただ、あまり身構えずに皆さんで国語の世界を存分に楽しんでいきましょう。

国語科では、各科目(現代文・古典・国語演習[文系のみ])1 週間ごとの単位数に準拠して 4/13(月)より主に zoom を使用して授業を進めていきます。登校再開時にそれまでの学習内容を振り返らず、「学習済み」として扱います。各 classroom で日時を知らせるほか、使用プリントを事前に配信して印刷しておくことを求めることがありますので気を付けてください。zoom 以外のツールで授業(課題)を進めていく可能性もありますので、各 classroom での連絡に注視してください。

このコロナショックの波を泳ぎきれ読解力を身につけましょう。

英語

4/13(月)から教科書や zoom、スタディサプリ、classroom 等を用いて授業を進めていきます。基本的な連絡は各クラスと英語の classroom で配信していきます。随時確認するようにしてください。最初のうちはなかなか慣れないこともあるかもしれません。しかし、皆さんの様子を見ながら課題を配信していきますので、焦らず、着実に提出するようにしてください。

高校生は日常が戻ると、学校生活や部活動等、非常に忙しくなるとわれます。時間に少しでも余裕がある今はある意味チャンスです。毎日少しずつ学習量を増やし、習慣化させましょう。最初のうちは課題を達成するごとに自分にご褒美をあげてもいいかもしれません。しかし、1度習慣化すれば学習もあまり苦ではなくなります。コロナが終焉する頃に皆さんの英語力の土台が出来上がっていることを切に願います。

社会

いよいよ新学期が始まります。このような社会情勢において、歴史を通じて過去から現代の礎を学び、地理を通じて各地域の特徴を学び多様な価値観に気付くことで、私たちの生活を様々な視点から捉え直すことは大きな意義があるのではないのでしょうか。

さて、社会科では、4月13日(月)の週から、スタディサプリの視聴や教科書を熟読し、知識を定着させた上で classroom から配信される確認テストや配布されているテキストの問題演習に取り組んでもらいます。勉強をしていく中で、疑問点やわからないところが出てきた人のために、週に1度「質問コーナー」を設ける予定です。こちらにも上手く活用してもらえたらと思います。学習に関する連絡は classroom から配信されるので、随時確認してください。

休校期間中で時間は沢山あると思うので、新聞や報道番組を通じて「今、世の中でどのようなことが起きているか」きちんと把握する習慣も付けられると良いですね。

保健・体育

高校2年生の保健は週1時間、体育は週2時間で展開されます。保健・体育の2科目で計3時間。I期:4/13(月)～、II期:4/20(月)～、III期:4/27(月)に分けて、週明けに課題を配信し、週末に提出していくサイクルの予定です。すべての連絡は、保健体育の Classroom から配信するので、随時確認をお願いします。他教科との兼ね合いですが、オンライン授業(探究系)をやるかもしれません。

また、同じく Classroom から、心を育てる「つぶやき」や有益な情報を配信していきます(不定期)ので、自分の生活に活用してください。この頃、運動不足で何か調子悪い人、いませんか？コロナウイルスのおかげで身体を動かすことの重要性に気づいている人がほとんどではないのでしょうか？さらに言えば、何気ない日常のありがたみを感じ、「感謝する心」が育ってきているのではないのでしょうか？この臨時休校の期間であなたは「結果にふさわしいメンタル」を手に入れることができるとしたら、いかがでしょうか？あなたはどんな人になりたいですか？あなたはどんなメンタル(心)を育てたいですか？この1か月、共に成長していきましょう。

球技大会・合唱祭は、延期または中止です。新体力テストは、延期または中止です。
オーストラリア研修は、延期で検討中です。詳しくは5月にお知らせします。

今後の休校期間中の学習課題・健康観察など

【各科目のクラスルーム】基本的には招待されません。自分でクラスコードを入力して入ってください。

現代文 m3ybtsa	GL文系中入数学Ⅱ α btcpnre
古典 2uef4pj	GL文系中入数学Ⅱ β hm5qvdz
国語演習(文系のみ履修) edjb7y5	GS理系数学Ⅱ 22pvulw
物理(GS クラス) pd4pzp4	GS理系数学B gixl5c3
物理(GL クラス) khh7h6m	GS文系数学Ⅱ α m3uqmqg
生物基礎(理系・物理選択者) xh4ztnx	GS文系数学Ⅱ β yointds
保健・体育 my5g5i5	40 th students English room qkgjdf5
GL理系高入数学Ⅱ tjnmhrt	(昨年度から続いているものです 入っていない生徒には招待を送っているので承認してください。)
GL理系高入数学B gahqkvj	文系生物基礎選択者(6,7組) gxuvbqu
GL理系中入数学Ⅱ 3tun4qu	
GL理系中入数学B lff6hto	
GL文系高入数学Ⅱ α vpnrhku	
GL文系高入数学Ⅱ β 5h37c4y	

※G Sの数学には中入高入別はありません

(再掲) 2020 年度課題研究特設授業 GSⅡ・SSⅡのご案内

本校2学年では、特設授業GSⅡ(GSコース必修)とSSⅡ(GLコース希望選択)が設置されています。これらの授業は、生徒が主体的に関心のある課題を見つけ探究し、その成果を発表するという一連の過程を通して、創造的な力(Creative)、粘り強く取り組む力(Studios)、他者に向けて発信する力(Communicative)の育成を目指すものです。

今年度は、4月の休校措置に伴い、Google Classroomを通じて教員と連絡を取りながら、生徒が自宅でテーマ探究等に取り組むかたちで、特設授業をはじめます。GSⅡを履修する生徒、およびSSⅡの履修を希望する生徒は、さしあたり、下記リンクからGSⅡ、SSⅡのGoogle Classroomに加入してください。SSⅡについての正式な履修希望は、5月以降、学校が再開してから行いますので、Classroomへの加入段階で履修するかどうかを決めていただく必要はありません。ただし、正式な履修希望の手順等も今後、Classroomを通して周知していきますので、SSⅡの履修を少しでも検討している生徒は、必ずClassroomに加入してください。

特設授業GSⅡのClassroomコード: vwsu3ll

特設授業SSⅡのClassroomコード: many6im

*4月13日(月)までに加入を済ませてください。



春休みの課題に関して追加確認

教科	課題	締切	追加で・・・
国語	<u>現古漢</u> ①問題集（任意） レベル・現古漢は問わない。ノート等に解いて提出。 <u>現代文</u> ②読書ノート 1冊以上。新書などがおすすめ。 ③社説ノート 3回分～。丁寧に行うこと。 <u>古文</u> ④和歌リライト（書き換え）（高校1年時GLのみ） Google classroom で配信済。	①次回登校日 番号順にして教員ロビーに持ってくる。 ②③④ 長くなるので右欄にて	②③google form での申告 or 次回登校日に現物を教員ロビーに持参で調整中。教科担当者からの連絡をお待ちください。 ④全て google form での提出に変更します。不都合があれば能口までメールすること。提出用 form は 4/10 に解放。4/16 に閉じます。 GL から GS に移動した人も提出してください。
英語	※全てクラスルームからの提出とフォームでの小テストに変更します。 4月13～17日で提出、テスト行います。 今後クラスルームで提出できるようにしますので、そちらで対応してください。指示をお待ちください。		
数学	春休みの課題については、すべて、10日にて受付終了とします。	締め切りは過ぎました。	
ト活用BOOK	0324（火）に各クラス配布された「スタディサポート活用BOOK OK」の巻末問題英語・数学・国語の問題すべてを取り組む。 取り組んだ後は解答を用いて自己採点し、正答率をp2～p3使って記入しよう。	次回登校日、とします	
「エ」総合	春休みの課題として ①自分史 4000字の冬休み書いた分からさらに4000字追加（冬の宿題と合わせて8000字） ②自分史冊子 「11、自分をアピールしよう」（p64p65 履歴書のみ書く） 「12、2年後の私への手紙」（便箋・封筒各自用意） ③「学校詳細比較ワークシート」 大学第一志望もふまえて興味ある大学5個を調べ、クラスで配られた緑色のスタサブシートに書いて提出	① ② ③ 0507 火 新担任に	※なお、 <u>夏休みの宿題</u> として『自分史』があります。さらに4000字追加して、夏休み明けには、自分史（計12000字）を完成させ、提出になります。製本の仕方自分史の冊子に記載されているので確認しておいてください。余裕があれば先に進めておくといいと思います。

スマホ等デジタル端末の使用に関して

生徒のみなさんへ

自宅学習期間が長期化するとともに、外出自粛要請も発令され、自宅で過ごす時間が長くなっていると思います。それに伴い、スマホやPCなどのデジタル端末を使用する時間も長くなっているでしょう。

今後、学校からの連絡を確認したり、課題に取り組んだりするために、ますます、デジタル端末を使う頻度・時間が増えると思います。

自宅にとどまっていなくてはならない状況のなかで、デジタル端末の高度化・普及により、自宅にしながら友達とコミュニケーションをとれたり、学習を進められたりすることは、喜ばしいことでしょう。しかし、一方で、デジタル端末の使用頻度・時間の増加により、トラブルが生じたり、健康を損ねたりしてしまうことについても、改めて注意しなくてはなりません。

①テキストメッセージや音声だけの会話など、顔の見えないコミュニケーションでは、思わぬ気持ちのすれ違いが生じやすくなります。自分の発するメッセージが、相手にどう受け止められるのか。相手の気持ちを考えることを忘れないようにしましょう。

②デジタル端末の使い過ぎにより、健康が損なわれてしまうことも心配されます。最近では、スマホなどのデジタル端末を長時間使用することにより、脳に流入する情報が過剰となって生じる「脳過労」という問題も注目されています。記憶力や意欲の低下が生じることもあるそうです*。また、近視は20代後半までは進行が続くと言われており、デジタル端末の見過ぎによる眼の疲労にも注意が必要です。

デジタル端末の使い過ぎによる諸問題に対しては、デジタル端末から意識的に距離をとる「デジタル・デトックス」が有効と言われています。すぐにでも始められる「デジタル・デトックス」として、

- ☐ 一日のなかで、デジタル端末を使わない時間を決める
- ☐ 就寝時にはデジタル端末を近くに置かない
- ☐ デジタル端末を持たずに散歩に行く
- ☐ デジタル端末で検索する前に、自分の頭で1分考えるクセをつける

などが挙げられます。

- ☐ デジタル端末を長時間見つめ続けないようにする（休憩時間を入れる）
- ☐ 深夜にデジタル端末を見ることは避け、朝は朝日を浴びて体内時計を整える

なども、大切です。

保護者と、デジタル端末の使用について、ルールを決め、夜間の端末あずかりなど、保護者に協力してもらうことも、自分自身をデジタル端末への依存から守る一つの手段です。

デジタル端末は、あくまで私たち人間が作り出した手段であり、私たちが使うものです。人間が、デジタル端末に使われる立場になってしまってははいけません。デジタル端末を上手に使って、この自宅学習期間を有意義なものにしましょう。

* NHK クローズアップ現代「スマホ脳過労」(<https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4249/index.html>)

保護者の皆様へ

日頃本校の教育にご理解ご協力いただきありがとうございます。

4月の休校措置にともない、お子様の学習や生活について、ご心配されていることと思います。学校としましては、インターネットによる教材配信やonline授業等を通して、できる限り子どもたちの学習支援をしていきたいと考えております。

一方で、スマホの長時間使用等、お子様とデジタル端末の付き合い方については、日頃より心配されているご家庭も多いかと思います。最近では、スマホが学習ツールとして使われることも多く、スマホ＝遊びとは捉えられなくなっていることは、以前よりお伝えしておりましたが、今後、お子様がデジタル端末を使って学習する時間が一層増えることになります。それに伴い、デジタル端末を使っての遊びの時間と学習の時間が、不分明になるなど、心配に思う機会も増えるかもしれません。

高校生の発達段階は、生活の隅々について保護者が管理をしなくてはならない段階ではなく、心配しながらも子ども達の自主自律に任せるべき段階であると思われます。この段階における、保護者、教員などの大人の役割は、何より、子ども達とコミュニケーションをとり続け、その自主自律を見守り、必要なときに必要な助言をあたえることでしょう。

デジタル端末についても、大人の側から高校生の子どもの達に使用のルールなどを強要することは困難であり、むしろ、大人と子どもの関係を損ないかねません。学校としましては、日々の連絡を通して、子ども達のデジタル端末の使用状況含め、生徒の生活状況について気を配っていきたいと考えています。保護者様におかれましては、お子様がデジタル端末を使って何をしているのかに興味を持っていただき、お子様とコミュニケーションをとっていただければと思います。それを通してお子様に、保護者として心配していること、保護者としては子どもにどのようなようになってほしいと思っているか、伝えていただければと思っています。そして、最終的には子どものことを信じているから子どもの自主性に委ねることを伝えていただき、お子さまの自主自律を育ててあげていただければと思っています。

デジタル端末の使い方含め、お子様のご自宅での学習や生活について、ご心配な事等ございましたら、学校としましてもできる限りのサポートをしていきたいと考えておりますので、各担任にご連絡いただければと思います。また、ご家庭のICT環境等についてもご不明な点や不都合等ございましたら、ご連絡いただければと思います*。

先行き不明なところではありますが、今後ともよろしく願いいたします。

*ご家庭のICT環境については、数日内に学校全体でのアンケートを実施する予定です。ご協力よろしく願いいたします。

配布物のご案内

生徒証・スタディサポートの問題・シラバスなどを、13日以降に郵送いたします。

スタディサポートに関しては、みんなで4月22日(水)に各自、時間を計って解きましょう！次回登校日に解答(マークシート)を持ってきてください。

40 期 高校 2 学年 科目担当者一覧

教科	科目	担当者
国語		川口純、能口菜々、早川千春、矢嶋香理
数学		五十嵐謙一、井上教子、大村俊樹、川島友紀、 佐々木容子、佐藤美恵、田口裕一、仲津留大樹、 藤本健、水元皓太
英語		佐藤修二、佐藤美月、辻村隆文
理科	生物	石井葉子、恵日格也、相馬融、中嶋由紀子
	物理	重原仁、須田博貴
	化学	中臺文夫、藤田勲、山本喜一
	地学	久保崇、藤本勝彦
社会	地理	須藤早紀、廣嶋伸道
	世界史	下条真歩
	日本史	甲藤信二
保健体育	体育	大淵藍子、白坂琢、原駿兵、久松卓
	保健	大淵藍子、三笠悠、久松卓
家庭	家庭基礎	中嶋真子、蔦澤伸子